

【平成 17 年度専修学校教育重点支援プラン】

事業名	中国ビジネス分野で活躍する若手ビジネスパーソン育成のための実践教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人 高山学園		
学校名	専門学校 福岡カレッジ・オブ・ビジネス		
代表者	理事長 高山哲信	担当者・連絡先	総務部／西嶋・092-741-1120
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <p>九州・福岡の地場企業における若手中国ビジネス人材の需要の高まりを受け、産業界の現実に即した中国ビジネスの基礎、中国の社会とビジネス環境、中国語はもちろんのこと英語を含めた語学等を体系的に学習し、企業における将来の中国ビジネスを担う資質と、意欲の高い若手人材を育成する新領域のカリキュラムを構築する。</p> <p><b>1)教育プログラム開発</b></p> <p>中高年社会人向けに既に開発した中国ビジネス人材育成のためのカリキュラム（11科目）を基盤にし、科目構成や内容項目を就労経験の少ない若年層を対象とした教育プログラムとなるように見直すことで、新たなカリキュラムとして開発。</p> <p><b>2)ニーズ調査等各種調査</b></p> <p>アジア（中国）と日本（九州）の産業動向と労働市場の分析、九州における国際人材開発のニーズとターゲットの把握、また中期における関連教育機能との連携可能性の研究を目的とした各種調査（企業ニーズ調査、研究機関・研究者ヒアリング調査、学生意識調査）を実施。</p> <p><b>3)実証講座</b></p> <p>専門学校・大学・短期大学在学および卒業生、未就労の若者（フリーター等）、若年層社会人等を対象に、平成 17 年 12 月 16 日（金）から 18 日（日）の間、本研究の主要テーマを集約した 1 日 7 時間×3 日間のモデル講座を行い、受講者や委員会の評価に基づく検証を実施。</p> <p>&lt;成 果&gt;</p> <p><b>1)教育プログラム開発</b></p> <p>事業計画では既に開発した中高年社会人向けカリキュラムを基盤とする予定であったが、産業構造や経済への基礎的な理解度や経験が浅い若年層に対しては内容の全面的見直しが必要と判断し、若年層向けの新たなカリキュラムづくりに取組んだ。その結果「中国ビジネス専門科目（660 時間）」「語学（640 時間）」「一般教養科目（220 時間）」「実習（480 時間）」で構成する計 2000 時間のカリキュラムを作成。実証講座での結果をフィードバックし加筆修正を行いテキストを作成した。</p> <p><b>2)ニーズ調査、実態調査</b></p> <p>企業ニーズ調査では、九州各県の中国ビジネス実施企業 400 社を対象に、郵送による企業ニーズ（アンケート）調査を実施。有効回答数 28 を集計し、その結果を教育プログラム開発に反映した。</p> <p>研究機関・研究者ヒアリング調査では、福岡県内の 3 大学の中国および国際ビジネス関連学部</p>			

教授・助教授にヒアリングを行い、その結果を教育プログラム開発に反映した。

学生意識調査では、中国或いは国際ビジネスに関心のある大学生を対象に集団面接方式による調査を行い、その結果を教育プログラム開発に反映した。

### **3)実証講座**

カリキュラムに組み入れた企業実習の実証として、1 日目に企業視察見学を実施。受講者は 1 日目：19 名、2 日目：18 名、3 日目 17 名であった。受講後にアンケートを実施し、その結果を教育プログラム開発にフィードバックした。